

# 備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

## 朝礼台

清水宗治の城下町、備中高松。

校長 石田 正人

今から四百三十二年前の一五八二年（天正十年）六月、羽柴（豊臣）秀吉（一五三七〜一五九八）による備中高松城の「水攻め」があった。今年、この時、水攻めを提案したとされる軍師・黒田官兵衛の生涯を描いたNHKの大河ドラマの放送がスタートしたこともあって、備中高松は注目を集めている。しかし、私たちからすれば、自らの命と引き換えに城兵五千人を助け、さらに毛利氏の安泰を条件に講和を成立させた戦国武将・清水宗治（一五三七〜一五八二）に注目して欲しい。いくつかの資料から、この時、清水宗治四十五歳、羽柴秀吉も四十五歳だった。同じ年というのは偶然だと思うが、秀吉がその後天下統一を果たすことを考えると、一見対象的な結末のようであるが、後世に名を残している点では一致している。

ドラマは始まったばかりだが、今年もいつか私たちの町が登場するだろう。清水宗治は、芸術家・文学者でもなく、科学者・宇宙飛行士でもなく、医者でもなく、実業家でもなく、冒険家でも、学者でもない。各地に戦いを制して、領地や天下をとった武将は多いだろうが、宗治の心を持つ武将は二人と出ていない。少なくとも四百三十二年間、この国にも、この地球上にも。清水宗治は郷土の偉人である。

### ◆ 「きらり輝け！岡山さんフェア 2013」開催 [平成 25 年 12 月 26 日(木)] ◆

昨年 12 月 26 日(木)、岡山県生涯学習センター（サイピア）を会場に「きらり輝け！岡山さんフェア 2013」が開催されました。このフェアは、農業学科をはじめとした専門高校の高校生が、日頃の学習成果を発表することで創造力や実行力を伸ばすとともに、地域社会に産業教育の魅力を発信することをねらいとしており、昨年度開催された「全国産業教育フェア岡山大会」の成果を継承し、専門高校の活性化を図るために、県独自に今年度から開催されたものです。



今回は農業学科を本校が担当し、関係 8 校の取組をまとめたパネル展示コーナー、同じく各校の特産品を取りまとめた販売する即売コーナーで、本校の生徒たちが大活躍してくれました。また体験コーナー「芝人形づくり」では、園芸科学科の 1 年生が頼もしい活躍ぶりを見せてくれ、参加された他学科の先生方からもお褒めの言葉をいただきました。

来年度は「産業教育 130 年」の記念の年にあたり、秋に岡山市内で開催される予定です。

第 91 号  
平成 26 年 2 月 28 日

発行元  
岡山県立  
高松農業高等学校

tel  
086-287-3711  
fax  
086-287-3713

### ◆ 1・2 年生 LHR 先輩を囲む会を実施 [平成 26 年 2 月 20 日(木)] ◆

2 月 20 日(木)、1・2 年生の全クラスで、進路が決定した 3 年生を招待して「先輩を囲む会」が行われました。これは進路指導の一環として毎年実施しているもので、各学科の 3 年生から上級学校への進学者及び就職予定者数名がそれぞれ下級生のホームルームを訪れ、進路決定までの活動で苦労した事やがんばった事などを話してくれるものです。進学するある先輩からは「進学するという強い意思表示を持って早くから先生に相談しておくこと」、「今のうちから英語の勉強をしておくこと」等のアドバイスがありました。また就職する先輩からは「好きなこと、やりたい仕事と求人が一致せず悩んだが、会社のパンフレットを親や友人と見て研究したり、実際に見学・訪問したりすることで出願先が見えてきた」、「就職の際はまず出願書類がきちんと書けるように普段から字をていねいに書く練習をしておくこと良い」などのアドバイスがありました。どの先輩からも自分の決めた新しい道に向けた力強い気持ちが伝わってきました。また下級生からも具体的な質問が出され、たいへん有意義な学びの場となっていました。



### 3月の行事

- 1(土) 卒業式
- 3(月) 3/1 の代休
- 4(火) 学校評議員会・学校評価委員会
- 9(日) 「食と環境・復興フェア」(高松公民館)
- 11(火) 入試準備
- 12(水) 学力検査
- 13(木) 面接
- 20(木) 合格者発表・終業式・寄宿舎閉舎
- 21(金) 春分の日
- 24(月) 2F 社会人講師
- 24(月)～25(火) 生徒会リーダー研修会
- 26(水) 入学許可予定者招集日

### ◆ 「平成 25 年度 高松農業高校研究発表大会」開催される ◆

1 月 22 日(水)～2 月 5 日(水)の日程で、各学科の研究発表会が開催されました。本年度も主に 3 年生が 1 年間かけて取り組んできた課題研究の研究成果や取組の実践報告(全 113 題)がなされ、たいへん興味深い発表内容にクラスメートや下級生からも鋭い質問が交わされていました。保護者の方も大勢来校され、熱心に聞いてくださいました。2 年生は次年度の自らの研究テーマについて考え始めている様子でした。(※全研究テーマを裏面に掲載しています。)

